

10月号 No. 156

社協だより

平成30年10月1日発行
社会福祉法人 三宅島社会福祉協議会
(東京都三宅島三宅村坪田 3053)
TEL 04994-8-5888 (代表)
FAX 04994-8-5892
I P 5-3155

三宅島社協法人化50周年記念式典

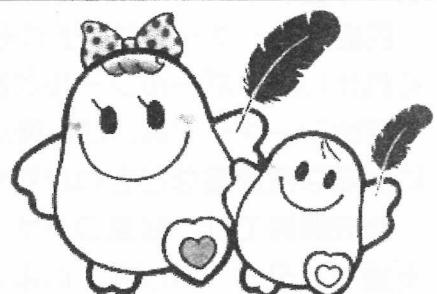


赤い羽根共同募金にご協力下さい！

赤い羽根の募金活動は、人のやさしい気持ちを集める活動です。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、地域を良くする一歩になります。

三宅島社協では、10月1日より地域の商店等にご協力いただき、赤い羽根共同募金運動を行います。この運動は、各都道府県ごとに行われており、集まった募金はその都道府県内で使いみちが決められ、寄付した地域で役立てられています。地域の社会課題を解決するための活動や、様々な地域課題を解決するための活動を行う団体に対して助成されます。

また、大規模な災害が発生した際の備えとして、各都道府県の共同募金会において、その一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては災害ボランティアの活動支援や被災地を支えるために使われます。



第16回福祉まつり・三宅島社協法人化50周年記念式典開催！



9月22日（土）三宅村コミュニティーセンターにおいて、第16回福祉まつりを開催しました。当日は、時折、強い雨も降りましたが、関係者も含め260名以上の方にご来場いただき、盛大な会となりました。

福祉まつりは毎年、「ふれあい」「参加」をテーマに、地域に暮らす子どもから障がい者、高齢者など、多くの地域住民の方々が交流する場として開催されています。三宅村をはじめ、三宅支庁や島しょ保健所、三宅島民生・児童委員協議会、三宅村シルバー人材センター、三宅島めぐりケアセンター、三宅島あじさいの会、訪問看護ステーション・アイエルなど、島の福

祉関係者が一堂に会し、ボランティアの協力を得ながら、地域福祉の発展、推進に努め、住民主体の社会福祉の実現を目的として開催しています。

ステージプログラムでは、島内で活動する「三宅島スティールパンクラブ」や「三宅島ハモニカサークル」の演奏、「島民合唱団アカコッコ」による歌が披露されました。また、地域包括支援センターの皆さんによる介護予防体操も行われ、来場者の皆さんと共に身体を動かしました。

会場内では、住民活動の様子を紹介する展示コーナーがあり、各地区的老人クラブやサロンの様子、シルバー人材センターや民生児童委員協議会の活動が報告されたほか、地域住民によるサークル活動などがそれぞれの工夫を凝らした形でわかりやすく展示されました。

福祉体験コーナーでは、車いすの試乗や高齢者疑似体験、点字の名刺づくりなどが行われたほか、あじさいの里の福祉車両が展示され、実際に触っていただくことで、より身近なものと感じていただきました。地域包括やアイエルの皆さんで福祉相談コーナーも開設してくださいり、住民の皆さん日々の心配事などを受け付けました。

民協のコーナーでは、子どもたちを対象に昔ながらの遊びができるよう沢山のおもちゃを用意してくれました。ボールプールと合わせて多くの子どもたちが楽しんでいました。

健康コーナーでは、がん検診などの情報提供や歯のセルフチェック、実際に生野菜を用意し、一日に必要な摂取量などをわかりやすく紹介しました。

販売関係では、軽食コーナーのほかに、地域活動支援センター「いぶき」による創作品の販売が行われました。日頃の活動の中で、一生懸命作った作品を利用者自ら販売しましたが、地域との交流にもなり、良い経験となりました。次回に向けて創作意欲も湧いてきたようです。

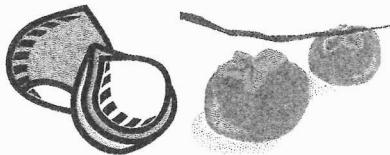
ふくし川柳は大変多くのご応募がありました。小学生の部、中高生の部、一般の部の中で、それぞれ、社協賞、ミンジー賞（民協）、シルバー賞があり、9名が表彰されたほか、特別賞として1作品が表彰されました。どの作品もユーモアがあり、日頃の福祉に対する思いなどがうまく表現されていました。



ふくし川柳受賞者の皆さん

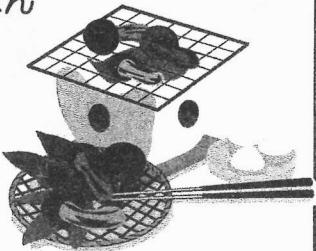
10/20
(土)

10月会食会のお知らせ！



メニュー

きのこの炊き込みごはん
サケのホイル焼き
ポテトサラダ
浅漬け
豚 汁
デザート



- 会場
- 時間
- 参加料

伊豆避難施設
10時～14時
500円

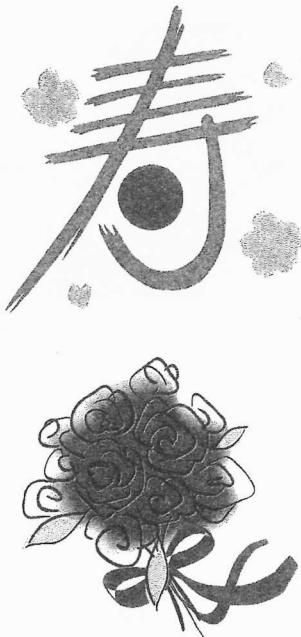
- 申し込み先

三宅島社協
(08-5888)

送迎の準備等がございますので、
予約は 10月11日(木)までに
三宅島社協まで電話予約をお願いします！

百寿のお祝い

9月16日にあじさいの里で開催された敬老会において今年百歳を
迎えられたお二人に本会の寺本会長よりお祝い金を差し上げました。
沖山喜代子様、寺澤テゴ様 百歳おめでとうございます。これからも
元気にお過ごしください。



寄付金のお知らせ

8月30日～9月29日までの間に、福祉まつり、法人化50周年
記念式典に対する複数のご寄付をいただきましたのでご報告いたします。
ご厚志誠にありがとうございます。

Twitter 更新しています！



みなさんフォローお願いします！

アカウント→@mjshakyo

三宅島社会福祉協議会



社協のホームページも公開しています！
是非ご覧ください！

法人化 50 周年記念式典

第 16 回福祉まつりに続き「三宅島社会福祉協議会法人化 50 周年記念式典」を開催しました。

数日間の秋霖から一転して暖かな風が吹き、会場内も大変蒸し暑い中、櫻田昭正三宅村長ほか多数のご来賓の方や村民の方に出席していただきました。

まず初めに、本会の寺本恒夫会長より、発足からの沿革をご紹介させていただくとともに、関係機関や地域住民の皆様にむけ、長きに渡るご支援やご協力に対する感謝の言葉を伝えさせていただきました。また、当日は多くのご来賓の皆様にご列席いただきましたが、代表して櫻田村長、谷村議會議長、渡邊支庁長、大野警察署長、横山東京都社会福祉協議会副会長より、心温まるお祝いの言葉と今後に対する激励のご祝辞を賜りました。



式典内では、東洋大学社会学部社会福祉学科教授 加山弾先生による「地域共生社会を目指してー全員参加の地域福祉へー」と題した記念講演を行いました。日本の各地で進行する高齢化による社会関係の希薄化・孤立化など新たな課題が私たちの周りに現れておりそれらを「新しい社会福祉の諸問題」として提示いただきました。これらの課題に対しては「地域社会、とりわけコミュニティの大切さ」や、「隣り近所の方々と一緒に考えていくうという姿勢」が大切であるとし、富山県氷見市等の事例をあげ、様々な（横断的な）関係者による助け合い活動を三宅島ならではの発想で、楽しみながら続けていくことで、次世代にもつながる島の暮らしを支えていきましょうとお話しいただきました。

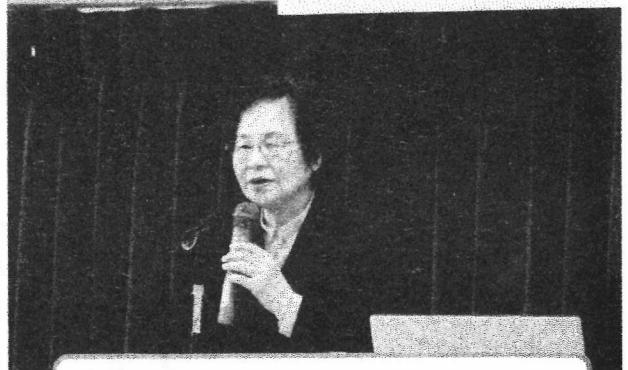


加 山 弾 先生

講演会に続いて、東京ボランティア市民活動センター所長の山崎美貴子様より、2000 年の噴火災害以降の三宅島の一人ひとりの心に寄り添う支援を多くのボランティアと目指したことや、ふるさとを奪われるという困難を乗り切り、現在の中でも希望の芽がいぶきつつあることを忘れないでほしいとのお祝いの言葉をいただきました。

最後に本会津村副会長よりお礼の言葉を申し上げ、閉会となりました。

三宅島社会福祉協議会は、多くの関係者の皆様と共に、三宅村の地域福祉の推進に邁進してまいります。今後とも皆様のご支援ご協力をお願ひいたします。



山 崎 美 貴 子 所長

福祉まつり会場内の落とし物として、女性物の腕時計をお預かりしています。
お心当たりのある方は、社協 (TEL 8-5888) まで、ご連絡ください。

今月のボランティア募集

【地区サロンボランティア】

三宅島内では、認知症・転倒防止のためのサロンが各地区で開催されております。サロンでは、近くに暮らす住民と福祉健康関係機関などとの交流活動を行っています。サロンでは、会を支えるボランティアの募集も随時行っております。どなたでもご参加できますので、見学や活動内容の詳細を確認したい方は、各サロンまでお問い合わせください。

ボランティア活動をする方は、事前にボランティア活動中における事故やケガなどを補償するボランティア保険への加入をお勧めします。島内でボランティア活動を希望している方、活動する方に対し、社協ではボランティア保険料の一部助成を行なっております。（登録制）また、ボランティアを必要とする個人、団体などからの相談・受付をしております。ボランティア活動団体への助成金申請についてもご相談下さい。

☎ 8-5888 Eメール mjshakyo@jeans.ocn.ne.jp

【認知症・転倒予防のための木曜サロン】

日 時：毎週木曜日 9:30~13:30
場 所：神着老人福祉会館
問合せ先：めぐりケアセンター
☎ 090-2655-1529 (前田)

【認知症・転倒予防のための阿古サロン】

日 時：毎月第1・3火曜日 9:30~11:45
場 所：阿古福祉会館（旧阿古保育園）
問合せ先：包括支援センター☎ 5-1832

【認知症・転倒予防のための伊豆サロン】

日 時：毎月第2・4水曜日 10:00~13:15
場 所：伊豆老人福祉会館
問合せ先：包括支援センター☎ 5-1832

【社協高齢者ふれあい会食会ボランティア】募

集！

日 時：10月20日（土）9:30~14:30
場 所：三宅村避難施設
活動内容：利用者サポートなど
昼食代：500円

職員紹介

「やっぱりヘルパー！やりがいのある仕事！」



式根島出身、伊ヶ谷在住の石井藤枝です。2000年の噴火前も社協のヘルパーとして5年間働きました。とてもやりがいのある仕事で頑張ることができました。

全島避難の際は八丈島に避難しましたが、やはり八丈社協のヘルパーとして4年間、お仕事させていただきました。帰島が始まった頃、主人の仕事の都合で大島に移り、すぐには三宅島に戻ることができずにいました。島に戻ってからは、伊ヶ谷の商店をお手伝いするなどしていましたが、4年前から社協の訪問介護ヘルパーに復帰しました。微力ながら皆様のお役に立てればと思い、頑張っております。宜しくお願ひします。

赤い羽根共同募金の助成で車を購入！

赤い羽根共同募金の助成を受け、新しい車両を購入しました。通院送迎サービス事業や、皆様の所に訪問する際に利用致します。島は塩害が酷く、車の痛みも早い状況です。皆さんに安心してご乗車いただけるように、しっかりとメンテナンスしていきたいと思います。安全運転を心がけ、ゆっくりと走りますので、ご協力を願いいたします。



地権事業通信

備えになる後見制度

認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が低下した方の生活を支える成年後見制度が2000年からスタートしました。これは判断能力が低下した人（本人）の生活を後見人がもう一人の本人として生活を支える制度です。

後見制度には裁判所が判断能力の低下により生活に不安がある方に対して適切な後見人を選び任命する「法定後見制度」と、自身の判断能力が低下した時に備えて制度利用を希望される方が後見人を選ぶ「任意後見制度」があります。

成年後見制度のメリットとは？

利用するためには複雑な手続きや時間が必要な後見制度のメリットとしては3点挙げられます。

1点目は元気なうちに、居住・生活環境や財産の使い方などについての考え方を書面で残しておくことで、後見人が可能な限り制度利用者の意思を尊重した後見業務（財産管理や代理契約など）を行ってくれます。

2点目としては、判断能力が低下しても「もう一人の本人」として後見人が制度利用者の健康・安全・生活レベルの維持を見守ることで犯罪や悪徳商法の被害から守ります。

3点目は、後見人が財産管理を行うことで相続の時までその記録が残り使途が明確になることで相続問題のトラブルを減らすことができます。

増加する後見制度の利用者

平成12年からスタートした成年後見制度ですが、制度利用者数は年々増加しており平成22年には14万人だった制度利用者は平成28年には20万人以上になりました。

増加傾向にある背景として、金融機関における預金の取扱いが厳格化していることや介護保険施設への入所や医療施設への入院に際して代理権限のある後見人等でないと契約を受けつけない施設の増加が挙げられます。

成年後見制度の利用に関するご質問や相談などございましたら、お気軽にご相談ください。

書類の手続きや日常的な金銭管理について不安なことなどございましたら、

三宅島社協（8-5883）までご相談ください！

法律相談会のお知らせ

弁護士、税理士、土地家屋調査士、司法書士などの法律関係者が無料相談会を開催します。

法律・税金・土地問題・身の回りのトラブル、日頃の疑問などなんでも結構です。法律的な解決の可否や方法、様々なご相談を受け付けていますのでお気軽にお越しください。

相談会場にお越しになれない方は、事前にご連絡いただければご自宅に出張します。

【主 催】NPO 司法過疎サポートネットワーク

【日 時】平成30年10月12日（金）

午前9時30分～16時30分

（終了時間は船・飛行機のスケジュールにより前後します）

【場 所】三宅村役場臨時庁舎3階

【連絡先】マザーシップ法律事務所

弁護士 小海範亮（こかいのりあき）

東京都新宿区四谷3-2-2 TRビル7階

TEL 03-5919-3530

地域の掲示板

“風のカフェ”

(認知症等介護者のためのカフェ)



『風のカフェ』では、ご自宅で介護に向き合われている方や、これまで介護をご経験された方々のお越しをお待ちしています。また、介護を受けられているご家族の方も、一緒にご参加いただけます。

どうぞ一緒に楽しい時間を過ごしましょう。また、『風のカフェ』では一緒に運営していただけるボランティアを募集しています。コーヒーを淹れる、おしゃべりをする、ゲームを一緒にする、どんな形でも構いませんので、是非一緒にしていただければと思います。

次回開催：10月6日(土) 9:00～11:30 (毎月1回：土曜日)



次々回は11月3日(土)の開設を予定しています。

開設日は、村役場にご協力いただきIP告知端末でもご案内頂いております。そちらもご覧ください。

問い合わせ：5-1470（みやけじま風の家）5-0904（三宅村役場福祉健康課 福祉係）

坪田地区ビーチクリーンクラブ からのお知らせ



～三池浜ビーチクリーンのご案内～

日 時：10月13日(土) 午前8時30分から1時間程度

集 合：「三池園地」

※雨天の場合は中止。軍手、ゴミ袋はクラブで用意します。

社協の求人情報！

お問い合わせ・申込みは、採用担当 齊藤まで
☎ 8-5888 IP☎ 5-3155

社協非常勤職員募集中！

【主な業務】 利用者支援、事務、送迎 等

【勤務時間】 9時00分～17時30分までの間

内 7時間 (曜日時間は応相談)

【資格要件】 普通自免許

【待 遇】 時給 1,000円

訪問介護ヘルパー募集中！

【主な業務】 清掃・調理・入浴介助等訪問支援

【勤務時間】 8時30分～17時30分までの間

(曜日時間は応相談)

【資格要件】 ホームヘルパー2級以上、普通自免許

【待 遇】 時給1,250円

マイ・ストーリー

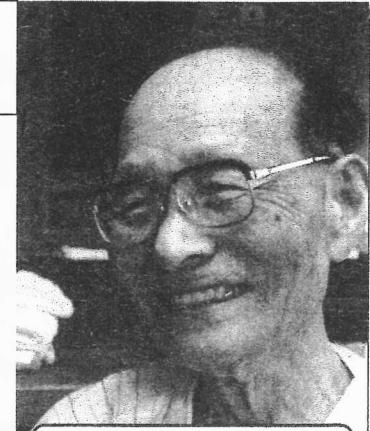
あなただけの物語、聞かせてください

第12回
沖山一夫さん
の物語

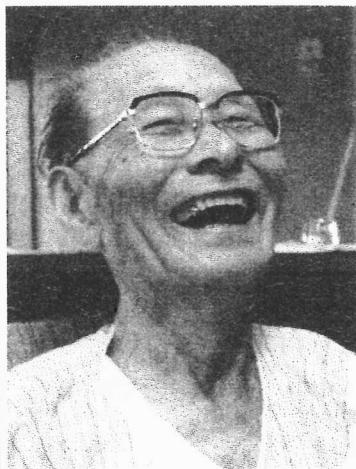
自分の勉強心には正直でいたいよね。

大正14年5人兄弟の末っ子として、阿古で生まれた沖山一夫さん93歳。幼少の頃に父が亡くなつたが、男勝りな母が女手ひとつで一生懸命育ててくれた。三宅島で生まれたが父の死を機に岡山のおじのもとへ母と移住する。青年学校に通うようになり、おじの仕事を手伝っていたが自分のやりたい事とは違うと思い、東京へ出た。そして横浜の簿記学校へ2年間通つた。軍艦を作る会社へ就職したが、21歳の時に召集令状が来て戦争へ行った。「戦争がなければ、上の学校へ行って、もっとたくさん勉強をしたかったな」と沖山さんは言った。戦争が起こって、たくさん苦しい事があった。でも、自分は生きて帰つてこれた。それだけでも幸運なことだったけれど、勉強をする事を、学校で学ぶ機会を失つた事が本当に苦しかったという。23歳の時に戦争から帰つてきて、三宅島に帰島した。郵便局に就職して、同級生の妻と結婚した。4人の可愛い男の子も授かった。「お見合いなんかじゃないよ。好きで結婚したんだよ。」と言つた沖山さんの言葉は、今は亡き奥様への愛があふれていた。60歳になり退職するまで、自分で勉強して責任を持ちながら仕事に向き合つていたことが今でも誇りだと言う。仕事で一番思い出に残つている事は監察官の書記として各島をまわつたことだそうだ。大事な仕事だし、責任も伴う、緊張感もあるし、いろんな勉強もしなければならなくて、とても大変な仕事だったが、とてもやりがいのある仕事だった。いろんな島に訪問できたことも、貴重な体験ができてうれしかったという。退職してからは花を栽培し、その花を東京に出荷していた。今まで、畑など作ったことなどなかつたので、ゼロからの出発だった。どんな肥料がいいのか、どんなことをしたら花にはいいのか、すべて独学だった。本をたくさん読んだ。本だけで納得できない事、わからない事は、どんな場所でも現地まで行き、自分の目で確認した。自分の好奇心を信じた。自分の勉強心には正直でいるべきだと沖山さんはわかっていた。自分の心が「学びたい、勉強したい」と叫べば、じっとしていられなかった。でも、85歳の時に脳梗塞に襲われた。それまでは全てのことに全力だった。全力で走つていた。全力で走りすぎたのかもしれない。「少しのんびりしなさい」と誰かに言われたようにも思えた。「人生は一生勉強だ」ということを身をもつて証明してくださる貴重な方だと思いました。

その真面目な姿勢の中にも、決してユーモアを忘れないお話、沖山さんの取材をさせて頂いて、ほんとに時間があつという間に過ぎるほど、楽しく愉快にお話して下さいました。取材の最後まで私たちに気を遣つて頂き、本当に感謝しています。そして急な取材のお願いを快く受けてください、ありがとうございました。たくさんの方に愛され、勉強できることの「幸せ」を教えてくれる沖山さんのマイストーリーでした!「どんな人とでも楽しく話をするのがいいよね」と優しくおっしゃった言葉とその意味の深さを忘れないようにします。一夫さんのように勉強できることの幸せを噛みしめて多くのことを学んでいきたいと思います。ほんとうにありがとうございました!



阿古在住の沖山さん



マイストーリーの連載が始まり一年が経ちます。まずは、取材にご協力いただいた12名の皆さんにこの場を借りてお礼申し上げます。そして、マイストーリーを毎月楽しみにしてくださっている読者の皆さんにもお礼申し上げます。「毎月読んでるよ!」というその声でとても励まされました。これからもたくさん愛していただけると嬉しいです。